

殺虫剤「ゴキブリキヤップ」で知られる岐阜県池田町の薬剤会社「タニサケ」の会長、松岡浩さん(モモ)が熊本市内で講演した。テーマは「笑顔」。熊本地震で傷ついた人たちに、笑う喜びと大切さを説いた。

「妻一人 操れないのに部下十人」。経営者や高校生ら四百五十人が集まった会場で、自作の川柳を披露するたびに笑いが起きた。そして続けた。「笑顔は元手がいららず、利益は莫大。与えても減らず、与えられた者は豊かになる」

タニサケは、社員二十五人に積極的な改善提案を求める手法で知られ、全国トップク

虹

元手いらずの熊本支援

ラスの利益率を誇り「日本一の知恵工場」とも呼ばれる。松岡さんは、経営のノウハウを教える研修会「タニサケ塾」を二十年間も開催。営業マンとしてならした巧みな話術と、社員への思いやりを忘れない経営哲学、絶やすことのない笑顔が、全国の中小企業経営者から人気を集める。



見るたびに「何かしたい」との思いが募った。熊本の知人に「僕の武器は口。話すことで役に立ちたい」と提案すると「松岡さんは常に笑顔。僕らも笑顔にして」と快諾してくれた。

講演後は握手を求める企業経営者で長蛇の列ができた。松岡さんは一人一人の手を両手で握り「頑張ってたな」と声を掛け続けた。

熊本にも、タニサケ塾などを通じて交流する経営者が何人もいた。地震のニュースを見るたびに「熊本には、縁のある方たちがたくさんいる。彼らが元気になるまで、僕なりの支援で寄り添ってきたい」

(揖斐川通信部・広田和也)

講演会の来場者と握手を交わす松岡さん(左)＝熊本市内で

日々の暮らしの中で見聞きした、ちょっといい話や心温まるニュースをお寄せください。連絡先を明記の上で〒460 8511 中日新聞社会部「虹」係へ。ファクスは052(201)4331。メールアドレスはniji@chunichi.co.jp